

地域密着型金融の推進について
(平成27年9月末進捗状況)

平成27年11月



北陸銀行



北海道銀行

I.	「地域密着型金融の推進」の基本的な方針	… P	3
II.	平成27年度の重点項目と具体的取組み		
1.	顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	… P	4
①	日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析		
	地域密着型金融の取組み事例 その1		
②	最適なソリューションの提案		
③	顧客企業等との協働によるソリューションの実行及び進捗状況の管理		
	地域密着型金融の取組み事例 その2		
	地域密着型金融の取組み事例 その3		
2.	地域の面的再生への積極的な参画	… P	10
3.	地域や利用者に対する積極的な情報発信	… P	10
	地域密着型金融の取組み事例 その4		
III.	平成27年度目標項目の進捗状況	… P	12
IV.	特集 地方創生の取組み（北陸銀行）	… P	13
	地方創生の取組み（北海道銀行）	… P	14

平成27年度の取組みについて

(1) 基本方針

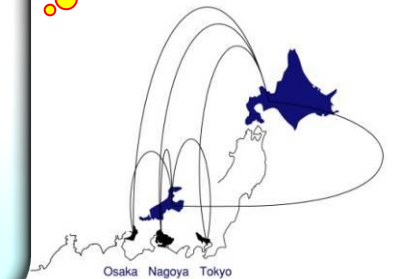
「ほくほくフィナンシャルグループ」は、地域密着型金融の本質である「地域と共に生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。

(2) 中期経営計画“GO for IT!”における地域密着型金融への取組み

中期経営計画“GO for IT!”（平成25年4月～平成28年3月）について

➤ 中期経営計画では、従来から取り組んできた「営業力の強化」「経営の効率化」を更に推し進めるとともに、「経営基盤の強化」を図ってまいります。このうち「営業力の強化」では、行員の目利き力、専門知識向上等人材育成をベースに、地域の成長業種支援やPB、M&A、事業承継等コンサルティング営業の取組みを強化し、地域金融グループとして一層地域に密着した活動を行っていくほか、ビジネスマッチングや海外進出支援等についても質の向上に努めてまいります。また、「経営基盤の強化」として、企業再生支援の取組みも強化してまいります。経営理念である「地域共栄」の方針のもと、地域のお客さまとのリレーション強化等により、変化する環境のなかで持続的に成長するための態勢を構築し、地域の信頼を得て地域活性化に資することを目指してまいります。

当グループの中期経営計画では「地域から頼まれ、頼りにされる金融グループ」を目指しています。



広域地域金融グループとしてのビジネスモデルの展開には、地域密着型金融の本質を踏まえた継続的な推進が不可欠であり、中期経営計画においても重要な位置付けとしております。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

① 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

以下の取組みについて、「組織としての仕組み作り」と「人材育成」の2点からご紹介します。

- ・ お取引先の経営目標、課題、企業ライフステージをより適確に把握するための取組み
- ・ 自社の目標や課題に対して、お取引先の主体的な取組みをサポートする活動

	具体的な取組み 【北陸銀行】	具体的な取組み 【北海道銀行】
仕組み作りについて	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 一取引先一応援運動の実践により、「お客さまを良く知り、最適な提案を通じ、お取引先のニーズを共有し、解決していく」活動を展開 ➢ 事業性評価に基づく、必要な支援を実施するため、外部機関との連携を強化 ➢ ほくぎんビジパ倶楽部やほくりく長城会等、会員向けサービスの充実により、お取引先のビジネスチャンスに繋がる情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ お取引先とのリレーション構築のビジネスマッチング、コンサルティングメニューの有効活用 ➢ 農業ネットワーク拡充、ほっかいどう長城会、経営塾等を通じた取引先との関係強化 ➢ アジア室およびロシア室による海外進出のサポート体制の構築 ➢ 経営革新等支援機関（認定支援機関）や中小企業再生支援協議会などの外部機関との連携を強化
人材育成について	<ul style="list-style-type: none"> ➢ コミュニケーション能力の向上を通じて、お取引先との円滑な関係を構築出来る人財を養成 ➢ 研修体系の強化や工場見学の実施、「目利きコンテスト」の開催等により、行員の目利き力を高める取組みを継続 ➢ 専門知識を有する部署での 트레이ニー（実務訓練）の実施により、お取引先のニーズにしっかりと応えられるコンサルティング能力の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 聞く力、プレゼンテーションスキルの向上により、お取引先と経営課題、成長戦略、長期ビジョンをしっかりと共有できる人材の育成 ➢ 融資担当者の渉外スキルの強化により、企業の成長可能性を重視した上での資金供給が可能な人材を育成するため、階層別融資研修会を実施 ➢ 産業調査の充実、調査情報発信の強化による業界情報の水平展開による提案力の向上

北陸銀行

富山県機電工業会と包括的連携協定の締結

富山県内の製造業者でつくる富山県機電工業会と包括的連携協定を締結しました。

ものづくりの強化による地域活性化に向け、新技術や新商品の開発、海外進出に関する支援を行っていくほか、ベンチャー企業向け融資の分野においても連携してまいります。



調印式の様子(平成27年7月)

「ビジネス・サミット2015」～北陸新幹線開業！「食」と「観光」の大商談会～開催

北陸新幹線開業を契機に富山市で「食」の販路開拓と「観光」の魅力発信をテーマにした大商談会を大垣共立銀行と共同で開催いたしました。

北陸新幹線沿線都市や中京圏、北海道の食品加工業者・観光団体が出展し、小売業者や海外とのパイプを持つ商社のバイヤーが商談に参加しました。また、出展者の食材を用いた有名シェフによる料理の試食イベントも行われました。



商談会の様子(平成27年6月)

北海道銀行

「ほくほくFOOD EXPO2015」を開催

道内メーカーの海外販路拡大の機会を提供するべく、当行・北陸銀行主催で「ほくほくFOOD EXPO 2015」を開催いたしました。当FGの海外拠点網を利用し、広く海外バイヤーを招聘した他、業務提携行であるタイ・カシコン銀行が道内商談会に初めて参加しました。



商談会の様子(平成27年8月)

当日は道内企業48社が参加し、海外バイヤーから現地情報や海外展開の戦略などのアドバイスをいただくなど有意義な商談会となりました。今後も様々な形で地元企業の海外進出をサポートしてまいります。

「北海道の『食』特別商談会in函館」を開催

水産加工品の一大産地である函館市にて、地元水産加工業者の販路拡大を支援すべく、道外バイヤーとの個別商談会を開催いたしました。



商談会の様子(平成27年8月)

今後も引き続き、道内各地で同様な商談会を開催し、地域企業の支援及び取引拡大に寄与できるように取り組んでまいります。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮（創業～販路拡大）

②最適なソリューションの提案

③顧客企業等との協働によるソリューションの実行及び進捗状況の管理

以下のような取組みを、企業ライフステージ別にご紹介します。

- ・お取引先の経営目標や課題に対して、適確な解決策を提供する取組み
- ・解決策の実行をサポートし、実行後も継続的に経過フォローを行うための取組み

創業・新事業開拓

販路開拓・海外進出

経営改善支援・事業再生

事業承継・M&A

	具体的な取組み 【北陸銀行】	具体的な取組み 【北海道銀行】
創業・新事業開拓	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 創業支援制度資金の活用や公的助成金の紹介、申請書策定支援による創業支援 ➢ 「ほくりくアグリ育成ファンド」、「ほくりく6次産業化ビジネス成長ファンド」の立ち上げにより、地域の農業および6次産業化を支援 ➢ 大学等と連携し、技術力の事業化支援やビジネスマッチングを通じた新事業の発掘と育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 創業支援制度資金等を活用した金融面からの創業支援 ➢ 農業を核とした6次産業化の推進支援、農林漁業成長産業化ファンドを活用した新事業創出、異業種からの農業参入支援に向けた各種セミナーや情報提供の実施 ➢ 医・農商工連携の実践とヘルスケア産業創出に向けた関係団体等との連携
販路開拓・海外進出	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 北陸新幹線・北海道新幹線の沿線を盛り上げる特色ある商談会の開催 ➢ 事前面談のセッティングや事後フォローの徹底等、商談成約確度を高める工夫を実践 ➢ ほくほくFGの海外拠点や国内外業務提携機関と構築したネットワークを活用し、お取引先の海外進出・事業展開を積極的に後押し ➢ 公的機関と連携したセミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ テーマを絞り込んだ各種セミナー、商談会、個別相談会、マーケティング支援の取組みを通じたお取引先ニーズの掘り起こし・把握 ➢ ウラジオストック駐在員事務所を活用した大陸方面へのビジネス展開支援やユジノサハリンスク駐在員事務所と連携した極東ロシア地域への進出支援 ➢ ほくほくFG海外拠点や国内外提携先機関を活用し、お取引先のニーズに合わせた情報提供およびビジネスマッチング等の支援

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮（事業再生・事業承継）

②最適なソリューションの提案

③顧客企業等との協働によるソリューションの実行及び進捗状況の管理

以下のような取組みを、企業ライフステージ別にご紹介します。

- ・お取引先の経営目標や課題に対して、適確な解決策を提供する取組み
- ・解決策の実行をサポートし、実行後も継続的に経過フォローを行うための取組み

創業・新事業開拓

販路開拓・海外進出

経営改善支援・事業再生

事業承継・M&A

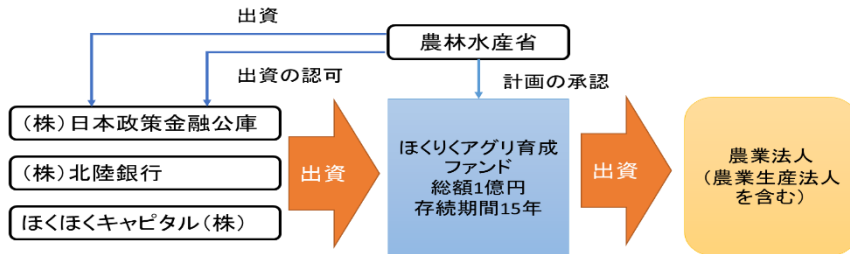
	具体的な取組み 【北陸銀行】	具体的な取組み 【北海道銀行】
経営改善・事業再生	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 営業店と専担部署との連携により、お取引先の特性なども踏まえた実効性ある経営改善計画の策定支援および計画の確実なフォロー ➢ 地域活性化支援機構等の外部専門機関も積極的に活用し、事業再生支援を質的・量的に強化 ➢ DDSやABLなど多様な金融手法を活用したサポートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 定例的なモニタリング活動を通じたお取引先の実態把握の強化と具体的な経営改善アドバイスの実施 ➢ 認定支援機関や中小企業再生支援協議会等、外部機関との連携による実現性の高い経営改善計画の策定支援や事業再生支援の実施 ➢ 専門機関ともタイアップし、モノづくりコンサルティングによる製造現場改善や生産性向上を支援
事業承継・M&A	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 専門知識を有する本部PBチーム、M&Aチームおよび営業店PBデスクを中心とする、きめ細やかな訪問、提案活動を実施 ➢ 弁護士やM&Aアドバイザー支援企業といった外部機関との連携による提案力の強化 ➢ お取引先の課題解決の一助となるようなセミナーをタイムリーに開催 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ お取引先との経営課題、長期ビジョンを共有し、深みのある相談相手となることで個別の課題解決に向けた具体的な提案実施 ➢ 道銀ビジネススクール「道銀経営塾」「道銀経営塾・幹部育成コース」「共栄会(経営塾卒業生の会)」を通じた後継者育成サポート ➢ 外部専門機関とも連携し、お取引先のニーズに即したM&Aマッチング支援

北陸銀行

「ほくりくアグリ育成ファンド」、「ほくりく6次産業化ビジネス成長ファンド」の活用

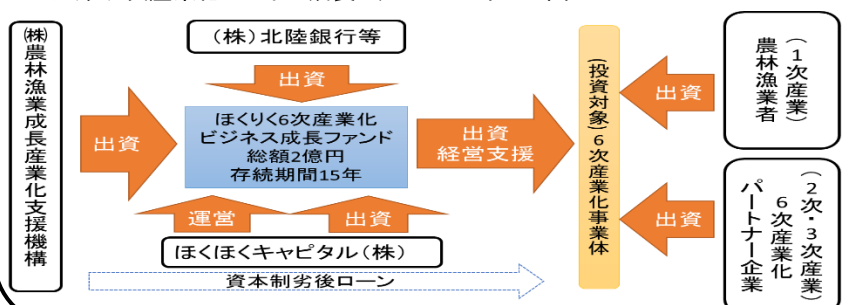
地域農業の担い手となる農業法人に対して出資を行い、安定的な資金を提供することで規模拡大や多角化への取組みを支援するための「ほくりくアグリ育成ファンド」の投資業務を開始しました。第1号案件として小矢部市の有限会社カンダファームへ約1千万円の出資が決定しております。

ほくりくアグリ育成ファンドのスキーム図



6次産業化事業に取り組むお客さまに対して、中長期的な経営支援を行うことを目的に「ほくりく6次産業化ビジネス成長ファンド」を設立しました。第1号案件として輪島市のワイナリーが設立した株式会社ハイディホフへ3千万円の出資が決定しております。

ほくりく6次産業化ビジネス成長ファンドのスキーム図



北海道銀行

「道銀・経営塾」で後継者・幹部育成を支援

17期目を迎える「道銀・経営塾」は、後継者の育成・異業種交流の場として道内企業経営者の認知度も高まっています。また、幹部社員の育成を目的とした「道銀・経営塾（幹部育成コース）」も6期目を迎えております。

これらの卒業生は618名となっており、平成24年度には、卒業生の会「共栄会」を立ち上げ、卒業後も継続的なサポートと卒業生同士が交流を図り、相互研鑽できる場としてゲスト講師を招いた定例会を開催しております。



道銀経営塾共栄会の様子
(平成27年7月)

当行は、引き続き企業の事業承継対策として後継者・幹部人材の育成をサポートしてまいります。

外部機関と連携して経営改善をサポート

当行は、経営改善等の支援が必要な取引先に対して支援を強化すべく、従前より連携関係にある中小企業再生支援協議会等に加え、新たに株式会社地域経済活性化支援機構と「特定専門家派遣に関する契約」を締結しました。これにより経営改善等に関して当行と提携関係にある外部専門機関は9機関となりました。

今後も外部専門機関とも連携し、取引先の経営改善に向けた取組みをサポートしてまいります。

北陸銀行

■「ほくぎんビジパ倶楽部」セミナーにてタイムリーな話題を提供

会員制情報提供サービス「ほくぎんビジパ倶楽部」では会員のお取引先向けにタイムリーな情報を提供すべく、継続的にセミナーを開催しております。



「マイナンバー制度」対策セミナーの様子
(平成27年9月)

平成27年9月、10月には「マイナンバー制度」対策セミナー、労働安全衛生法の一部改正に伴う「ストレスチェック制度」直前対策セミナーを開催し、数多くのお取引先にご参加いただきました。

■事業承継対策としてのM&A業務への取組み



受賞の様子(平成27年6月)

M&A相談会や、専門チームによる個別相談により、多くのM&Aニーズを発掘しています。株式会社日本M&Aセンターより、平成26年度内に最も多くの新規協働受託があったとして3年連続の表彰を受けました。

経営改善支援の取組み実績 (平成27年度)

北陸銀行の取組み状況

※先数、比率には正常先を含んでおりません

期初債務者数	10,741先	経営改善支援 取組み率	4.17%
経営改善支援取組み先数	448先	再生計画策定率	89.28%
再生計画策定先数	400先	ランクアップ率	8.03%
ランクアップ先数	36先		

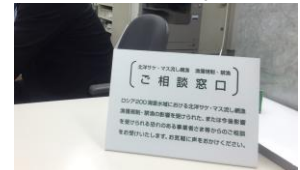
※上記のほか、1,303先を事業計画策定必要先と選定しており、その計画策定率は99.61%となっております。

北海道銀行

■サケ・マス漁獲規制等対策資金の取扱を実施

ロシア200海里水域での北洋サケ・マス流し網漁による漁獲割当量の規制、来年度以降の禁漁の決定を受けて、当行では規制・禁漁の影響を受けられる恐れのある事業者さま等からの資金ニーズ等のご相談をお受けする専用窓口を設置いたしました。

あわせて、「道銀サケ・マス漁獲規制等対策資金」の取扱いを行っています。



専用窓口の設置(釧路支店・根室支店)

■農業経営全般をアドバイス

当行には農業経営アドバイザーの資格者が全国最多47名おり、新規就農者を含む農業生産者全体へのきめ細かな経営アドバイスを実施し、産業の底上げや6次産業化を後押ししてまいります。

農業経営アドバイザー	47名 (うち上級資格2名)
J-GAP指導員 (農業生産工程管理)	4名

北海道銀行の取組み状況

※先数、比率には正常先を含んでおりません

期初債務者数	3,054先	経営改善支援 取組み率	7.59%
経営改善支援取組み先数	232先	再生計画策定率	84.91%
再生計画策定先数	197先	ランクアップ率	7.75%
ランクアップ先数	18先		

※上記のほか、金融円滑化の事後フォロー先として437社を選定しており、その計画策定率は100%となっております。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

具体的な取組み 【北陸銀行】

- 環境格付に基づく融資・私募債の取扱いを通じた環境保全活動への支援や中小企業の成長促進により、地域経済活性化をサポート
- 大学への寄付講座、小中学生向け金融教育への講師派遣等、将来の地域を担う若い世代への各種教育を通じた、長期的視野での地域貢献
- 「地域創生応援プロジェクトチーム」を中心とした「地域創生」に向けた戦略策定への積極的参画
- 中心市街地における賑わい創出への協力や、地域活動への積極的な参加等、将来の人口動態を見据えた“まちづくり”に向けての側面的な支援

具体的な取組み 【北海道銀行】

- 北海道の可能性拡大に向けた「アグリビジネス」「医療・福祉」「環境・再生エネルギー」など地域経済の発展に繋がる成長分野への取組み強化
- 「道銀地方創生本部」を設置し、地方自治体に対する「地方版総合戦略」の策定支援と地方創生の推進に積極的に取り組む
- 「北海道銀行フォルティウス」等の支援を通じたスポーツ振興活動、「職場銀行体験」「エコノミクス甲子園」等を通じた金融教育活動、森林保全活動等のエコ活動など、各種CSR活動を通じた地域への貢献、関係強化

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

具体的な取組み 【北陸銀行】

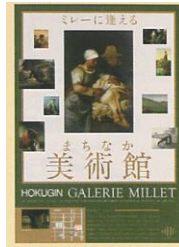
- ホームページや定期刊行物（『地域密着型金融の推進』、『ほくほくレポート』、『ディスクロージャー誌』『ミニディスクロージャー誌』）をより見やすく、より分かりやすく、より多くの人にご覧いただけるよう工夫を継続

具体的な取組み 【北海道銀行】

北陸銀行

■ ギャルリ・ミレー開館3周年

9月1日に当行所有絵画を展示する美術館「ギャルリ・ミレー」が開館3周年を迎えました。これを記念して9月3日までの3日間の観覧料を無料としました。期間中、富山県内の方はもちろん、「おわら風の盆」に合わせて新幹線で富山にお越しになった方など多くの方が美術館を訪れ、ミレーやバルビゾン派の作品を楽しんでいただきました。今後も地元商店街の賑わいの創出に貢献できるよう努めてまいります。



館内の様子(平成27年9月)

■ 地域イベントを通じた活性化の取組み

札幌の夏を彩る「YOSAKOIソーラン祭り2015」に市民団体との合同チームにて出場しました。当行、北海道銀行から総勢64人が踊り子や旗振りとして参加し、力強い演舞でお祭りを盛り上げました。



YOSAKOIソーラン祭りの様子(平成27年6月)



富山まつりの様子(平成27年8月)

富山の夏の恒例イベント、「富山まつり越中おわら踊り」に役員総勢約140人が参加し、一団となって踊りを披露しました。

今後も地域活動への積極的な参加を通じて地域活性化に努めてまいります。

北海道銀行

■ 社会福祉法人のための「農福連携」セミナー開催

農業分野への参入を検討されている社会福祉法人を主対象に具体的な事例をもとにした講話、現地視察等を行うセミナーを開催いたしました。成長分野に位置づけられている「医療介護」・「アグリビジネス」を本取組みを通じ、連携させていくことで新たなヘルスケア産業の創出を図ってまいります。

当行では本部機能のほか、外部機関とも連携し、社会福祉法人と農業生産法人とのマッチング支援、北海道ヘルスケア産業支援協議会メンバーとしてお取引先のサポートを行ってまいります。

北海道銀行
社会福祉法人のための「農福連携」セミナー

日時：平成27年7月15日(木) 13:00-17:00 (昼食12:40)

参加費：13,000-14,000
講師：社会福祉法人農福共創会
会場：道庁2015(札幌) (申込先: 011-222-1111)

申込先: 011-222-1111
申込先: 011-222-1111

■ 「どうぎんカーリングクラシック2015」初開催

当行は、スポーツ振興を通じたCSR活動の一環としてカーリング競技を支援していますが、平成27年7月～8月に国内外のトップチームを集めた「どうぎんカーリングクラシック2015」を開催いたしました。



表彰式の様子(平成27年8月)

参加チームメンバーが講師を務めるカーリング体験会も同時開催し、多くの方に参加いただきました。

今後も様々な取組みを通して競技の振興に努めてまいります。

Ⅲ. 平成27年度目標項目の進捗状況

北陸銀行

目標項目	27年度 目標	27年度 上半期実績	進捗率
研修受講者数 (融資審査関連)	800人	593人	74%
債務者区分 ランクアップ件数	60件	36件	60%
業務提携先等活用 の提案件数 (国際業務支援)	300件	133件	44%
事業承継提案 訪問件数	480件	411件	85%
工場見学実施回数 (産業調査部帯同)	50回	26回	52%

北海道銀行

目標項目	27年度 目標	27年度 上半期実績	進捗率
研修受講者数 (融資審査関連)	230人	248人	107%
債務者区分 ランクアップ件数	25件	18件	72%
海外進出支援 取組件数	150件	201件	134%
外部機関・専門家の 活用件数	30件	9件	30%
ビジネスマッチング 成約件数	600件	325件	54%

- 平成27年6月に「地域創生部」を新設し、地方版総合戦略の策定支援への取組みを強化しております。
- まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」に即応した施策として、①人材還流の支援、②移住・住みかえ促進支援、③ビジネスマッチング支援に取り組んでおります。

具体的施策

地域創生部の取組み（三つの柱）

①都市圏から地域への人材還流の支援



都市圏のU・I・Jターン希望者・大手企業のシニア人材と地域企業の人材ニーズをマッチングさせるプラットフォームを構築し、支援体制の充実を図っております。

②地域への移住・住みかえ促進支援



移住・住みかえ支援機構（JTI）による都市圏から地域への移住希望者のマイホーム借上げ制度を活用した専用ローンの新設を年内に予定しております。

③大手企業と地域企業のマッチング支援



リンカーズ株式会社と業務提携を締結し、大企業・中堅企業の技術ニーズとものづくり中小企業が有する技術シーズのマッチングサービスにより、地方創生をサポートしております。

情報発信

地方創生セミナーの開催

7月に「地域づくりのヒント～北陸新幹線時代の富山～」と題した講演会を実施しました（株式会社日本政策投資銀行共催）。

8月には「PPP／PFI」をテーマとして、北陸財務局、株式会社日本政策投資銀行と共同でセミナーを開催し、数多くの関係者が出席されました。



地方創生セミナーの様子
（平成27年7月）

地方自治体との連携

包括的地域連携の締結が加速



越前市（福井県）との締結式の様子
（平成27年6月）



滑川市（富山県）との締結式の様子
（平成27年9月）

上記のほか、7月には勝山市（福井県）、10月には上市町（富山県）、南砺市（富山県）、釧路町（北海道）、11月には大野市（福井県）と包括連携協定を締結し、これまでに計9つの地方自治体と連携を図っております。

相互の資源を有効に活用した緊密な連携により、地域課題の克服を図るための取組みを強化してまいります。

「地方創生元年」である平成27年度において、当行は地方創生の推進を銀行経営の施策の中核と位置づけ、積極的な関与・支援を行っていくための様々な取組みを実施しております。

企業育成

道内金融機関と共同で地方創生ファンド設立



道内の14信金・3信組等と共同で「ほっかいどう地方創生ファンド」を平成27年9月に設立（その後4信金が加入し、最終的に18信金・3信組が出資）。

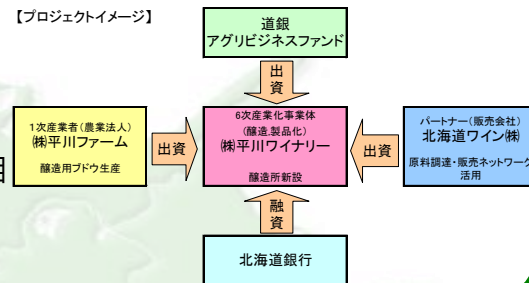
北海道の地域資源を活用して成長を狙うベンチャーや中小企業等への投資を通じて、地方創生・活性化に寄与することを目的とし、北海道が優位性を持つ経営資源を活用し成長を目指す企業を支援してまいります。

6次産業化

道産食品の付加価値を創造

北海道が栽培面積、収穫量全国1位を誇る醸造用ワインを活用し、付加価値の高い北海道産ワインの創出を実現するため「道銀アグリビジネスファンド」を通じて出資し、事業の支援を行いました。

本ファンドによる出資は昨年の道産そば事業に続き、2例目となりました。



移住・空き家対策

自治体等と連携した関連商品を提供



公的な住みかえ支援制度を運用する「移住・住みかえ支援機構（JTI）」と道内金融機関として唯一提携し、移住・住みかえ・空き家対策に係るローン商品を提供しています。

- （新商品）
- 道銀移住・定住促進住宅ローン
 - 道銀賃貸活用型リフォームローン
 - 道銀活動型リーバスマーゲージローン

また、自治体の実状に合わせて連携のモデルプランも提案しております。

地方創生本部

「地方創生」推進体制を強化

平成27年7月、地方創生をより推進するため、道銀地方創生本部の体制を強化しました。従来以上に地方創生に積極的な関与・支援を行ってまいります。



